

外国語科学習指導案

生徒 第2学年B組 男子19名 女子19名 計38名
指導者 教諭 福留志織
ALT マイケル・ポップハム

I 単元 Unit5 『A Park or a Parking Area?』

(NEW HORIZON English Course, Book 2, TOKYO SHOSEKI)

II 単元について

学習指導要領における中学校外国語科の目標は「外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を養う。」であり、また今次改訂では「聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎」をバランスよく育成することが強調されている。

本題材では、生徒の身近で親しみやすい出来事について取り上げ、その内容に関する意見や記事に対して、初歩的なディベート、ディスカッションで必要とされる表現法を用い、自分の体験等を結びつけながら意見を構築し、仲間にその内容を表明していくという活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成したい。

また、活動の評価については、その内容の一貫性や文法的正確さについて相互に評価をさせたり、ALTからの評価を受けさせたりなどし、個々の生徒にそれぞれの習熟度に関する情報をあたえることで学習意欲を向上させ、自律的に学習する態度を育成したい。

III 単元の指導目標

- (1) 文章の一貫性を意識し、自分の意見を構築させる。 【表現・理解】
- (2) 接続詞が用いられている意見記事等の構造を理解させる。 【言語や文化についての知識・理解】
- (3) 接続詞が用いられている意見記事等の意向を正しく理解させる。 【理解】
- (4) 聞き手の存在を意識しながら、効果的に接続詞を用い自己の意見が伝わるよう発表させる。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

IV 本単元における言語活動

自分たちの身近な出来事について書かれた記事を元にディベートをする。 【討論・共同】

V 単元の評価規準

| コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 外国語表現の能力 | 外国語理解の能力 | 言語や文化についての知識・理解 |
|--|---|---|---|
| ①初歩的なディベートにおいて自分の意見が相手に伝わるようコミュニケーションストラテジーを多用し発表している。 ②聞き手の存在を意識し発言している。 | ①接続詞を用い一貫性のある文を構築している。 ②初歩的なディベートで必要とされる用語を用い一貫性のある文を構築している。 | ①接続詞が用いられている文についての内容を理解している。 ②相手の意見の内容を理解し、対応した質問や反論意見を構築している。 | ①接続詞を用いた文の構造を理解している。 ②初歩的なディベートで必要とされる用語の役割について理解している。 |

VI 指導と評価の計画 (6時間扱い・・・本時 5/6)

(1)指導の計画

| 月 | 単元 | 題材 | 指導目標 | 主な学習活動 | 時数 | 《言語活動系統表》との関連 | |
|--------|--------|---------------------------|----------------------------------|--|--|----------------|---------|
| 1 0 | Unit 5 | A Park or a Parking Area? | Starting Out | ①if 節が用いられている文の構造を理解させる。 ②if 節が用いられている文の内容を理解させる。 ③if 節を用いて条件を解釈して一貫性のある文を構築させる。 | if節が含まれている記事を読み、接続詞の役割を理解する。 p50 の Listen の内容を理解する。 同ページ Speak において if 節を正しく活用し説明する。 | 1 | 【解釈・説明】 |
| | | | Dialog | ④that 節が用いられている文の構造を理解させる。 ⑤that 節を用いて条件を解釈して一貫性のある文を構築させる。 | That 節が含まれている対話文を読み接続詞の役割を理解する。 p51 の Your turn において that 節を正しく活用する。 | 1 | 【感受・表現】 |
| | | | Reading for Communication Review | ⑥接続詞や初歩的なディベート、ディスカッションで用いられる用語が用いられている文の構造を理解させる。 ⑦接続詞を用い、一貫性のある論理的な文を構築し、発表させる。 ⑧初歩的なディベート、ディスカッションで用いられる用語についてそれぞれの働きや違いを理解させ文を構築させる。 ⑨聞き手を意識し自分の意見を積極的に伝えさせる。 | When 節 Because 節が含まれている新聞記事や投書を読み接続詞の役割を理解する。 接続詞等を活用しながら一貫性のある説明文や意見を構築したり発表したりする。 ディベートの際、初歩的なディベートで用いられる用語を活用し、自分の意見を構築する。 様々なコミュニケーションストラテジーを多用し自分の意見を発表する。 | 4 本時 3/4 | 【討論・共同】 |

(2) 評価の計画

| 観点 | 指導目標 | 評価方法 | Aのキーワード・具体例 | 評価規準 | Cへの手立て |
|-------------------------|------|---|---|--|--|
| コミュニケーションへの 関心・意欲・態度 | ⑨ | パフォーマンス課題⑧ Debate /Discussion(2) ワークシート 観察 | 辞書等で調べたり, 教師に質問するなどし, <u>If~, I think that ~</u> の表現を用い, 自分の事について <u>聞き手を意識しながら伝えよう</u> としている。また, <u>他生徒のスピーチに対しても質問している</u> 。 | ディベート等において聞き手の存在を意識しながら, 様々なコミュニケーションストラテジーを多用し自分の意見を発表している。 | 個々にスピーチ原稿の指導を加えたり, 事前に練習させるなどし, 情意フィルターを低下させるような支援をし意欲付けをする。接続詞を用い, 平易な文を発表させ意欲付けをする。 |
| 表現の能力 | ③⑤⑦ | | <u>p52,53</u> の本文を元に、自分の身の回りの出来事に関する <u>記事や意見</u> を書いている。 <u>p54</u> のA,Bの活動を元に自分の身の回りの出来事について <u>一貫性のある文</u> を書いている。 <u>一貫性のある意見を用語を効果的に活用</u> しながら自分の意見を表現している。 | 接続詞を正しく活用し, 一貫性のある文を構築することができている。 <u>p54</u> のA,Bの活動で5W1Hを意識し文を配列している。 初歩的なディベートで用いられる用語を用い自分の意見を表現している。 | ワークシート等のモデルステップにより, それぞれの語の役割の違いを把握させながら活用させる。 |
| 理解の能力 | ②⑧ | | <u>P52,53</u> とおよそ同等な難易度の実際の新聞記事や, 意見などを読み内容を把握している。 <u>相手の意向を正しく理解し, 対抗する意見を構築</u> している。 | 接続詞が用いられている意見記事における書き手の意向や, 問題点について把握している。 ディベートにおいて相手の意見を理解している。 | 大事な部分に線を引かせながら, あらすじをつかませる。 |
| 言語や文化についての知識理解 | ①④⑥ | 単元テスト 定期テスト | 他の語句との文法的つながりについて, 自ら学習を進め知識を広げようとしている。 | 接続詞 <u>If~, that ~, when, because</u> が用いられている文の構造を理解している。 論理的な文を構築するために必要とされる, 接続詞や初歩的なディベート, ディスカッションで用いられる用語についてそれぞれの働きや違いを理解し, 正しく活用している。 | 接続詞等の意味や活用について, パターンプラクティスを行い理解させる。 初歩的なディベート, ディスカッションで用いられる用語についてそれぞれの働きや違いをワークシートを用い理解させる。 |

Ⅶ 生徒の実態について

生徒たちは, 1学年から Show and Tell などの活動を豊富に経験してきたことにより, 自分の考えなどを既習の表現を用いて発表する素地は比較的育成されつつある。また, 必要に応じて, 辞書等を使い未習の語を駆使しながら, コミュニケーションを図る姿が見られるなど, 総じて積極的に活動に取り組むことができる。「どのような学習内容であれば, さらに学習意欲が向上するか」と言うアンケートに対して, 9割近くの生徒が「実際に起こった出来事や, 刻々変化するニュースなどを英語で読むこと, 考えを英語で書くこと」や, 3割の生徒が「自分の英語のでき具合について知ること」がより「学習意欲が向上する」と回答している。現段階の生徒たちは, 実際に起こったニュース等については未習表現が含まれていても, 個々のスキーマを用い, 教師が作成した教材を理解することはできる。1学期には,

自分の意見を初歩的なディベート・ディスカッションで用いられる用語を活用させ、論理的にまとめ、発表させるという活動を行った。この活動により、用語を用い、論理的に意見を構築していくための素地を身につけることができたと考えられる。しかしながら、初歩的なディベートにおける特にジャッジの場面において、即時的に自分の考えを構築するための、構成力、語彙力の習得には、多くの生徒において至っていない。

Ⅷ 本時案

1 題材 『A Park or a Parking Area?』

2 学習目標

- ・内容の一貫性や用語の適切さについて意識しながら、論理的に文を構成することができる。

【表現の能力】

- ・初歩的なディベートで用いられる用語を用い自分の意見を発表することができる。

【表現の能力】

- ・聞き手に内容が伝わるよう工夫し積極的に、意見を発表することができる。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

3 学習の展開

| ○学習活動 | ○教師のかかわりと◆留意点 | ○評価規準と評価方法 |
|---|--|---|
| ○warm-up ・前時の復習をする。 | ○帯学習 QA を行う ・既習知識を用い自分の意見を短い文で発表させる。 | |
| ○本時の学習内容を確認する。 | | |
| 初歩的なディベートを通して論理的に意見を構築しよう。 | | |
| ○<活動1> 3種類ある議題のうちどれか一つについて、ディベートを行う。 | ○既習の用語を用いて以下の学習目標に注意させながら、意見を構築させ、ディベートを行わせる。 意見を構築していく際、評価者がみとる観点を確認、認識させる。 | ○VI(2)に示された評価規準によりワークシートを用い、生徒の熟達度について評価を行う。 |
| 学習目標を確認しながら、ディベート(学習活動)を行う。 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><学習目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手を意識して、一貫性のある意見を構築する。 ・I agree(disagree) with～ because・・・や, I don't think that～等の語を活用し、意見を論理的に構築し表現できる。 ・聞き手に内容が伝わるように発表する。 </div> | 接続詞を正しく活用し、一貫性のある文を構築することができる。【表現】 |
| ○<活動2> 相互評価、自己評価を行う。 | ◆ALT による評価(熟達度・到達度)情報をプリントアウトし、生徒にフィードバックとして与える。 ○自分の到達度を認識し、次回の活動に今回の評価よりもたらされた自分の情報を生かすよう指導する。 | 初歩的なディベートで用いられる用語を用い自分の意見を表現している。【表現】 |
| ○次回の学習内容を確認する。 | ○次回の学習内容を伝える。 | ディベート等において聞き手の存在を意識しながら、様々なコミュニケーションストラテジーを多用し自分の意見を発表している。 【関心・意欲・態度】 |
| 初歩的なディベートにおけるジャッジに挑戦し、論理的に意見を構築できたか相互評価してみよう。 | | |